

さわがせ

号 数 第 3 2 3 号

発行日 令和3年9月1日

発行所 金光教 韮 教会
〒550-0011

大阪市西区阿波座 2-2-10

TEL&FAX 06(6541) 6313

mail : kagiyama2001@ybb.ne.jp



教会屋根葺き替え工事を終えて、きれいになった大屋根(7月27日)

子孫の幸せは先祖の助かり

教会長 鍵山公生

ワクチン打っても安心できぬ

新型コロナウイルス感染症が流行するようになって久しくなります。ワクチンを受けて高齢の皆様は少し安心した方もおありでしょう。しかしまだまだ3回目のブースターワクチンが必要だと聞かされ、心の安まらないことでございます。



早く収束するようにと毎日祈願詞を奉唱させていただいておりますが、一向に終息するどころか、罹患する人が増える始末でございませう。国民の皆さん一人一人が己の事のみ考えず、世の人とともに助かるため、真剣な取り組みが肝要と感じております。

毎年3月、9月は御霊様をお祭りする月で、今回はお墓事情について記します。

千の風になって

数年前に「千の風になって」という歌が流行りました。その一節を記しますと、
* 私の墓の前で 泣かないでください そこに私はいません 眠ってなん
かないません 千の風に 千の風になって あの大きな空を 吹きわたっています
—後略—

金光教祖様は、「死んだ者の魂は、天地の間にぶゆが飛ぶように遊んでいるのである。わが家の内の霊舎にいるし、わが墓所に体を埋めていることからすれば、墓所と霊舎とで遊んでいるのである」と仰せられ、お墓に肉体（お骨）が収まっているのですから、全く居ないというのではなく、そこに魂がおられるということでしょう。



墓じまい

お墓は亡くなった人を埋葬した場所、そして死後の住まいと考えて、大切にしてきました。しかし最近は「墓じまい」する人が増えてきました。それはなぜでしょう。

親や家族が亡くなった時は寂しく、或いは懐かしく思って墓参りをしても、年月が経つとだんだん忘れ去り、特にお墓が遠方や不自由な場所にある場合は、お参りの回数が減り、或いは参拝がおっくうになる人もあります。

嫁に来た人は愛する夫はともかく、その親や先祖など自分と関係がない人と考え、自分の今後の生活に力点を置くからです。時には嫁姑との仲が悪かった人は、同じ墓に入りたくないと言って、個人墓を建てる人もいます。

人によっては亡くなった人と離れがたく、お骨をお墓に納めず、わが家に置いている人もあります。しかしできるだけ早く納めさせていただくべきだと思います。それは、肉体は土から生まれ育ち、土に帰るのが自然だからです。

二代朝教会長・和田こゆみ先生は、「個人のお墓を作るのは悪いことではないが、子孫が絶えたり、お墓参りができなくなることもある。しかし教会の納骨所に納めさせていただけば、例え子孫がいなくても、毎年春秋に墓前祭をしていただけるし、月々に信者が誰彼なしに参ってくれる。ありがたいことやで。」と話しておられました。

家制度を大切にしてきた日本

昔は家制度を大切に考え、子孫が絶えないように心を配り、子供が女兒ばかりの場合、女性は嫁に行くことができず養子を迎えなければなりません。現在はそういった制度は廃されたため、家系が存続しないことが多くなり、そこで

お墓も不要になってしまうのです。

亡くなる前に家族と仲良くしていればいいのですが、そうでなければ、家族に伝えたり、遺言に書き残されていたとしても、亡くなってしまえば死人に口なしで、残った者が自由勝手にしてしまうこともあります。

教祖様がお亡くなりになったらどうすればいいでしょうかとお尋ねすると、
「屍しかばねは苞つとに入れて川に流すなりと土に埋めるなど勝手にせよ、人の死にたる体は空なり、不浄なり。しかし親を川に流したと言うては、世間もかれこれと言うであらう。菰こもに巻いてでも土に埋めておけば、事は足る。御霊のまつりは大切にせよ。」(佐藤範雄の伝え)と仰せられ、ご遺体(お骨)よりも御霊を大切にすることを厳しくお教えておられます。

肉体は魂の入れ物であって、死んでしまえば土に帰るのが自然というものです。それなのに世の多くの人は、亡くなった人の姿、形にとらわれるため、お骨ばかり大切におろそにして、御霊を疎かにする人が多くおられます。

金光様は、「生きている間も死んだ後も天と地とはわが住みかである。」と仰せられ、お墓や霊舎などと小さな問題ではなく、もっともっと大きな心で天地をとらえられました。それではお墓や霊舎など必要がないというではありません。人間は形に見えないと納得しにくいものがあり、仏像にしたり、お墓や霊舎を目当てにして拝礼しているのです。



人間が亡くなったあと

各家庭のお墓を持つことはいいことですが、このごろ子供がいなかったり、女兒だけの家庭、また結婚しない人など子孫が続かず、お墓があってもその後継者がいない家庭もあります。その結果お墓は放置されるか、ほっておけないと考え、墓じまいすることになるのです。そう考えると、現在自分たちが入るお墓があるからといって安心できません。お墓を建立しても、子孫が参拝せず、草ぼうぼうと繁り、埋もれてしまったのでは、何のためのお墓か分かりません。大切なのは先祖を祭ることの意義、いわゆる信仰心を伝え、育てることが第一なのです。金光教では、「子孫繁盛、家繁盛の道を教える」と教えられています。しっかり道の教えを聞かせていただき、御霊の立ち行きを願わせていただくことが大切なのです。

スパンを100年先を見据えて

家庭を持つときに、夫婦の生活のことだけを考えず、これから100年先を見

据えて家の幸せを願いながら生活することです。

うちの家は女ばかりで家を継ぐものがないとってあきらめる人もあります。子供の教育にお金がかかるので、生活が楽になるよう少子家庭を選ぶ方が多くなりましたが、年が経つにつれて、新たな問題を抱えることになります。家系が継げるための手立てを考えておくことです。子供がいないとか、娘しかいなければ養子を迎えるとか、他人の子でも育てて後継者にするとか、いろいろ方法があります。とは言ってもとても難しい問題が付きまといまいます。信心することとは、目先のことのみ願っているのではなく、これから先何十年もの先のことを神様に願い、その上自分たちのできる限りの努力も必要です。

ご先祖がおられてこそ自分たちが今あるのです。そして自分たちが今幸せに生活ができていることを感謝し、ご先祖にご報告させていただくことを一番喜んでくださるのです。それなのに今困った、困ったと泣き言を言わねばならないようではご先祖は悲しまれます。子孫の助かりは、ご先祖様の助かりでもあるのです。

第74回少年少女全国大会について（8月8日）

少年少女全国大会は、金光様へ子どもたちがこれまでの御礼と、これからお役に立つ人にならせていただくことを願い毎年御本部で開催されていますが、本年も、昨年引き続き、新型コロナ感染症拡大にともない、大阪には緊急事態宣言も発令されており、当教会から参加することはかないませんでした。しかし、わかば祭などの行事は、参加者を祭場へ入れず、係員スタッフのみで開催されました。



月例霊祭日に、祥月命日の御霊様もお呼び出しして
ご慰霊させていただきます。
ご都合お繰り合わせをいただかれ、ご参拝下さい。
(9月12日、10月10日ともに午前10時半より)



教会大屋根葺き替え大修理完工

－浄財献納額は予算金額に過不足なし－

前号のさわかぜに掲載いたしました韃教会大屋根葺き替え工事について、御本部を始め、大阪親教会に御取次をお願いし、信奉者の皆様に御祈念添えとご協力をお願いいたしておりましたが、7月27日に無事完工いたしました。

この広前は、昭和60年（1985）10月、韃布教80年祭時に新築され、築後36年を経る間に雨漏りし、随時防水のためペンキ塗り、コーキング施工をして維持してまいりました。これまで屋根材はカラーベストが使用され、屋根の勾配が緩かったために、大雨時に逆流が生じていたようです。更に平成30年（2018）9月4日、徳島県南部と兵庫県神戸市に上陸した台風21号により関西地方において、近年稀に見る暴風雨が吹き荒れ、当韃教会におきましても屋根周りに相当な被害を受けました。当時は工事を依頼しても業者の手が回らず、素人の手により応急処置をしてきました。しかしその修理不十分のため、二階天井の数カ所に雨漏りの被害が露見されました。そのまま放置することができず、このたび急遽葺き替え工事をしていただくことになりました。

7月10日より炎天下の中、今回はガルバニウムカラー鋼板による瓦棒貼りで、施工業者が汗水たらしながらのご奮闘により、7月27日無事完了することができました。

早速8月1日の天地金乃神様月例祭にその御礼ご報告を申し上げます。

今年の8月は日本全土に長雨が続き、雨漏りがないか点検し、完全であることを確認させていただきました。

なお信奉者の皆様のご協力により、税込み見積額 3,378,760円の予定額に過不足のないご浄財、3,380,000円が献納になりました。

このぴったりとした金額となり、神様のおぼしめしの素晴らしさに恐れ入るばかりでございます。親神様に御礼を申し上げますとともに、御祈念、ご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。「神信心しておかげのあるを不思議とはいうな。信心しておかげのなきときぞこれぞ不思議なることぞ。」との御教え通りでございます。

これからはまだ天井の補修、その他工事は残りますが、ぼちぼち取りかかりたいと考えております。以上ご報告申し上げます。 金光教韃教会



9月

- 1日(水) 月例祭執行 午後2時
4日(土) 御本部月参拝 午前6時出発
12日(日) 月例祭並びに月例霊祭執行
午前10時30分
祭典後教話 講題「御霊様はそばにいらっしゃる」
講師 佐野教会長 福嶋 光 師
17日(金) 信徒共励会 午前10時

23日(祝) 秋季霊祭執行 午後2時

祭典後、信徒体験発表

26日(日) 秋の合同墓前祭 (瓜破霊園にて)

午前10時30分

10月

- 1日(金) 月例祭執行 午後2時
3日(日) 御本部 生神金光大神大祭参拝
10日(日) 月例祭並びに月例霊祭執行
午前10時30分

(年間行事予定から、

日程を変更しております。)

- 16日(土) うりわり墓参 午前7時
17日(日) 大祭準備大掃除 午前10時

10月24日(日) 午前10時30分より

生神金光大神大祭奉行

祭典後説教：講師：四條暁教会長 大倉 真道師

韃教会のホームページが、リニューアルされました。
また、さわかぜも、韃教会ホームページからお読みいただけます。

<https://utubo.konko.info>

教会大屋根 葺き替え工事

7月10日～
7月27日



←↑これまでお世話になった古いカラーベスト（屋根材）を剥がしました



↑下地にコンパネを貼り、
←ガルバニウム鋼板を貼りました



↑雨の日には、ブルーシートで覆われました

